



2018年 埼玉の 食料・農林業・農山村



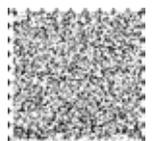
埼玉県マスコット
「ヨバトン」



埼玉県マスコット
「さいたまっち」



音声コード (SPコード)



彩の国
埼玉県



活字文書読み上げ装置で、情報を音声で聞くことができます。



本県は恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中にある産地という「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な農産物が生産されています。特に、小麦は産出額が全国第3位、花きは同じく第4位、野菜は同じく第7位と、全国でも有数の産地となっています。また、県土の3分の1を占める森林は木材を供給するだけでなく、水源の涵養、二酸化炭素の吸収・貯蔵などにも大きな役割を果たしています。

農林業・農山村は、食品産業や観光業などと結びつき、地域の経済や県民生活に活力をもたらす役割も担っています。また、県土の保全や水源涵養、美しい風景や伝統文化の維持・形成など通じて県民の安全で豊かな暮らしにも寄与しています。

一方、農業従事者の高齢化が進む中で農業生産を維持・発展させていくためには、新たな担い手を確保するとともに経営力の高い農業経営体を育成することが重要となっています。また、経済のグローバル化を背景に、農業分野においても国内外の産地間競争が一層激しくなることが予想されています。

県では、こうした環境の変化に的確に対応し、農林業・農山村の持続的な発展を図るため、「埼玉農林業・農山村振興ビジョン」を策定し、農林業の稼ぐ力、農林業に係わる人財力、農山村の地域力を高める取組を進めています。

農林業の「稼ぐ力」を高めるため、食品製造業者など実需者からの要望に応えるオーダーメイド型産地の育成やAIなど先端技術の活用による生産性の向上、伐採時期を迎えた森林の皆伐・再造林による県産木材の増産と利用拡大などに取り組みます。

また、農林業に係わる「人財力」を高めるため、農家子弟を含めた多様な担い手の確保・育成や農業経営法人化の推進、先端的技術の導入による農業大学校教育の充実などに取り組みます。

さらに、農山村の「地域力」を高めるため、中山間地域の未利用農地を活用した地元農産物の高付加価値化や魚の放流と外来魚・カワウ駆除による魚影豊かな川づくりなどに取り組みます。

こうした取組を通じて、本県農林業の成長産業化と農山村の持つ様々な機能の充実を図り、豊かで安らぎある県民生活の実現を図ってまいります。

この冊子は、埼玉農林業の現在の姿や平成30年度の主な施策をグラフや写真を使ってまとめたものです。県民の皆様をはじめ多くの方々のご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

平成30年7月 **埼玉県知事 上田清司**

目次

1	本県の概要	1
2	全国的にみた埼玉農林業の地位	2
3	埼玉農林業の構造	3
4	農業生産の現状	7
5	平成30年度の主な食料・農林業・農山村施策	13

埼玉県のシンボル



県章



県民の鳥「シラコバト」



県の木「ケヤキ」



県の花「サクラソウ」



県の蝶「ミドリシジミ」



県の魚「ムサシトミヨ」